

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「きらり」北田宮校			
○保護者評価実施期間	2025年10月14日 ~ 2025年12月29日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	39	(回答者数)	30
○従業者評価実施期間	2026年1月8日 ~ 2026年1月9日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	2026年1月9日			

○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	狭いスペースの中でもしっかりと構造化ができていること	職員全体で話し合い、定期的に校舎内のレイアウトを変更し構造化を行っている。また、必要なパーテーションなどは手作りで自作するなどしている。教材が非常に多いので、収納スペースを確保できるように工夫している。	より広いテナントに移動できるのがベストだが、今は現実的ではない。収納スペースを工夫し、利用者の活動スペースが狭くならないように工夫していく。
2	職員全員でお子さんを見るという意識があるところ	校舎全体の様子が見えるような支援スタイルであるため、担当以外の利用者の動きにも気を配ることができる。専門的支援実施においても、複数の職員で対応できるようにしている。	1年に一回胆道指導員を変更することで、指導員がどの利用者さんの療育にも携われるような機会を作り、アットホームな事業所にしていく。
3	定期的にイベントなどを開催しているところ	外部から講師を招いてのSCIENCEイベントや、地域の施設を使っての運動イベントなど校舎外とのつながりもしっかりと作りつつ充実したイベントを開催することができた。保護者・利用者ともに好評であった。	今後も外部講師と連携したイベントを企画している。今までイベントに参加できていない利用者も参加できるように日程調整を行っていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	校舎が狭い	この事業の開所当時にテナントの選択で失敗していると思う。療育をするにはある程度の広さが必要だと感じる。	収納スペースを工夫し、極力活動スペースを広くしたい。可能であればもっと広いテナントに移転したい。
2	バリアフリーにはなっていない	玄関前にスロープを設置したが、車いすが変わり現在のスロープでは利用が難しくなった。	スロープを設置し直すなど改善案を検討する。
3	保護者支援が充実していない	個々で保護者の方の相談する機会は設けているが、保護者会やペアレントトレーニングなどは現在実施できていない。	子どもが利用している時に別室で保護者と話せる場所や、保護者が集まれるスペースがほしい。

公表 保護者等からの事業所評価の集計結果								
事業所名		こどもサポート教室「きらり」北田宮校						
		公表日 2026年 2月 14日						
		利用児童数 39 回収数 30						
		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	26	4	0	0		なるべく広くなるようにレイアウトの工夫を行っている。もう少し広いテナントに移転できるとベストだと考えている。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	30	0	0	0		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	27	2	0	1		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	30	0	0	0		
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	29	1	0	0		
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	28	0	0	2		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	29	1	0	0		
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	28	1	0	1		
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	28	2	0	0		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	27	1	1	1		
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	11	5	5	9		交流が取れるように努力したいと思っている
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	28	0	0	2		
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	29	0	0	1		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	11	8	2	9		保護者会やペアレントトレーニングなどは現在校舎の狭さでは難しく実施できない。情報提供はあれば実施している
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	28	1	0	1		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	29	1	0	0		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	30	0	0	0		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	12	5	3	10		個々で保護者の方の相談する機会は設けているが、保護者会などは現在校舎の狭さでは難しく実施できていない。

	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	27	1	0	2		
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	29	0	0	1		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	25	0	0	5		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されているだと思いますか。	29	0	1	0		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	28	0	0	2		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	24	0	0	6		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	28	1	0	1		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	17	0	0	3		
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	30	0	0	0		
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	28	1	1	0		
	29	事業所の支援に満足していますか。	30	0	0	0		

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	こどもサポート教室「きらり」北田宮校	公表日	2026年 2月 14日	
環境・体制整備	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点
	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	限られた空間の中をいかに狭さを感じないように構造化している
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	バリアフリーの面では身体障害者用の移動式スロープを設置した
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	玄関前の花壇の手入れを子どもたちと一緒にを行い、整備して整えるようにしている
業務改善	5 必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	死角がないように全体を見渡せるように配置をしている
	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	療育の合間の時間などを使って話し合いができるように努めている
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	
適切な支	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	できる限り専門的に学ばれて経験している方の講義を取り質の向上を図っている 外部研修も今年度は実施できた
	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	本児専用のスケジュールを提示しているためどんな活動内容が準備されているのか分かるようにしている
	12 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	個別支援計画が作成された時は、必ず計画と実施の方法を話し合うようにしている
	15 子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	校舎専用のアセスメント表に基づき行動観察を確認している
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	どの利用者さんの支援にも対応できるよう、指導員の担当の配置を工夫している

援 の 提 供	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	<input type="radio"/>		四季折々の行事などを取り入れ、マンネリ化を防ぐ努力をしている	
	19 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	<input type="radio"/>			
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	<input type="radio"/>		専門員が活動に参入する時の打ち合わせなど話し合い等行っている	
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	<input type="radio"/>			
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	<input type="radio"/>		うまくいった支援やもう少し工夫したらよかったですという支援などアドバイスをもらしながら向上に努めている	
	23 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	<input type="radio"/>			
	24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	<input type="radio"/>			
	25 子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	<input type="radio"/>		スケジュールを使って活動の選択や本人のやりたいことに耳を傾け実施できるよう柔軟な取り組みをしている	
	26 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	<input type="radio"/>			
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	27 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	<input type="radio"/>			
	28 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	<input type="radio"/>		保護者の方から下校時間の変更確認の連絡を受け行っている	
	29 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。		<input type="radio"/>		
	30 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。		<input type="radio"/>		
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		<input type="radio"/>		
	32 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。		<input type="radio"/>		
	33 （自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		<input type="radio"/>		
	34 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	<input type="radio"/>			
	35 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレンツ・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		<input type="radio"/>	専門的スキルをこれから学ぶ機会を作り取り組めるように進める	
	36 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	<input type="radio"/>		契約時、管理者から丁寧に説明を行っている	
	37 放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	<input type="radio"/>			
	38 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	<input type="radio"/>			

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	<input type="radio"/>		必要に応じて相談を受け、一緒に問題解決の方法を考えアフターケアも行っている	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		<input type="radio"/>		
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	<input type="radio"/>			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	<input type="radio"/>		月に2回ブログで療育の様子を発信している	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	<input type="radio"/>			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	<input type="radio"/>			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		<input type="radio"/>	行事ではないが、地域の方との交流がしやすいように校舎周辺を四季折々の花を植え、管理し地域住民に受け入れてもらえる場所として意識している	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	<input type="radio"/>		年間計画を立て訓練を実施している	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	<input type="radio"/>		年間計画を立て訓練を実施している	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	<input type="radio"/>		アセスメントの時、詳しく保護者と話を聞き取っている	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	<input type="radio"/>			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	<input type="radio"/>		定期的に一年間の計画を立て実施している	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	<input type="radio"/>		自然災害で連絡の取り方を聞き取り、事業所からの連絡方法も保護者の方にお伝えしている	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	<input type="radio"/>		その時々に話し合いの場を設け再発防止策に取り組んでいる	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	<input type="radio"/>		年間計画で決められた時期に実施している	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	<input type="radio"/>		事業計画書の説明の時に伝えている	